

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和5年度			
事業番号	52	事業名	子育て支援センター事業		担当課		子ども家庭課			
			(大事業名) 子育て支援センター運営事業		予算区分（款-項-目-中事業）		3-2-1-1 子育て支援センター事業			
					決算書ページ		117	~	118	一般
総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち		事業開始の背景	平成20年度から、次世代育成支援法（当時）に基づき、子育て親子の交流の場の提供、子育て等に関する相談・援助を行うものとして開始した事業。令和3年度から重層的支援体制整備事業の地域づくり事業にも追加。				
	政策	3	子どもの健やかな成長を支える環境の整備							
	施策	(2)	安心して子どもが過ごせる場の整備							市民・民間事業者との連携協働の可能性
	その他	開始年度	平成20年度							
		終了予定年度	<input type="checkbox"/> 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定						
		根拠法令等	子ども・子育て支援法							
		関連計画	第2期子ども・子育て支援事業計画							
I 基本情報	アウトプット（詳細はⅡへ）				アウトカム（詳細はⅢへ）					
	①事業概要 （どんな取組を行うのか）		②活動指標 （取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか）			③中間成果 （①【対象】がどのような 状態に変わるのか）		④最終成果 （大事業の将来像）		
	【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 8950 【事業内容】 子育て支援センターで、子育てに不安や悩みを抱える家庭に対する育児相談や育児に関する情報提供をはじめ、育児講座や保護者同士の交流の場を提供します。		【アクションプラン指標】 子育て支援センター利用者数【単年】 【その他の指標】			子育て世帯の孤立化を防ぎ、虐待等のない環境で子育てができる。 （成果指標名） 行事の定員からの予約率		大事業共通 子育てしやすいまちとなる。		

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ	区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度		
		1	【アクションプラン事業】	人	基準値	18,793	見込	6,049	8,000	8,000	8,000	8,000	
			子育て支援センター利用者数【単年】		目標値	24,960	実績	7,959	7,959	7,959	7,959	7,959	
		2	【その他指標】	回	基準値	—	見込	—	6	6	6	6	
			交流を目的とした講座等の回数		目標値	—	実績	—					
		3			基準値		見込						
					目標値		実績						
		4			基準値		見込						
					目標値		実績						
		エピソード											
		事業開始からの経緯											
		<p>平成20年度に開所し、子育てに関する事業を時代のニーズを捉えながら事業を展開をしている。平成26年からはアウトリーチとして、地域の身近な児童館等に出向き、リズム遊びなどの教室を実施し、相談・援助活動を進めてきた。令和2年のコロナ禍では休館時期を3ヶ月設けた後にまん延防止対策として滞在人数の制限を設けて再開し、未就園児の居場所としての役割を努めた。また令和2年から令和5年までは流行状況に応じ、行事の中止、方法変更、参加人数や時間の制限しながら、場の提供を行った。コロナ明けからは徐々に制限を緩和し、事業を展開している。利用者数はコロナ禍で激減しているが、令和5年度では増加している。また令和5年度から保健センターの育児教室での周知活動を開始した。</p>											
		R5(2023)年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
		<p>・令和5年5月8日からは入館者制限を廃止し、徐々に来館者数が増えた。 コロナが明けたため、行事も実施時間の制限を緩和して実施した。</p>											

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標									
		行事の定員からの予約率	%	年度	▶	4 年度	▶	【現状】 5 年度	▶	6 年度	▶	7 年度	
						94.5		90.4		90.4		90.4	
		成果達成状況				指標目標値の根拠							
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている			内容等が対象のニーズに合っているかどうか行事自体の評価ができるため。							
	評価の理由、分析												
	令和3年度分は文書破棄されているため数値不明。令和5年の数値が低下した理由はコロナ明け定員増大したため。												
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由									
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		対象にとって必要な事業であるため。								
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要											
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）													
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容									見直し可能年度	
1	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												
2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												
3	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												

IV 費用	令和7年度予算の方向性（PLAN）	R7年度の費用（R6年度比）		3年間の推移	（単位：千円）		R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度		
		A	A. 現状維持 B. 拡充		事業費	予算	予算	決算	予算	決算		
			C. 縮小 D. 廃止			10,513	8,408	8,400	8,138	8,045		
		理由			特定財源	合計額	7,000	5,644	5,600	4,602	5,362	
		事業費用のうち人件費が約9割を占めている事業であり、現時点ではこれ以上の費用削減は難しい。				(内 国費)	3,350	2,822	2,800	2,301	2,681	
						(内 県費)	3,350	2,822	2,800	2,301	2,681	
						(内 諸収入)						
						(内 その他)	300					
		積算額			一般財源	3,513	2,764	2,800	3,536	2,682		
		R6年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R5年度予算額）>										
会計年度任用職員報酬 6,514千円（6,164千円） 会計年度任用職員期末手当 1,330千円（1,285千円） 会計年度任用職員勤勉手当 1,113千円（0千円） 育児講座講師謝礼 100千円（100千円） 普通旅費 4千円（4千円） 特別旅費 9千円（9千円） 費用弁償 11千円（4千円） 会計年度任用職員通勤費 72千円（72千円） 消耗品費 558千円（462千円） 食糧費 2千円（0千円） 印刷製本費 124千円（0千円） 飼料費 2千円（0千円） 損害保険料 100千円（100千円） 清掃委託 100千円（100千円） 道路通行料 3千円（3千円） 子育て支援センター用備品 466千円（0千円） 子育て支援センター連絡協議会負担金 5千円（5千円）												